

事業個別活動レポート

実施事業名称	発達障害啓発セミナー 「とっても大事なコミュニケーション支援～笑顔で子育て 幼児期支援と強度行動障害支援のリアルな話」
実施年月日	2025/09/28
実施場所(所在地) (施設名)	草津市大路二丁目1番35号 キラリエ草津 6階大会議室
参加人数	90名 (概数:当事者3、保護者25、福祉関係者39、その他(教育関係者等)23)
事業の具体的な内容	<p>滋賀県発達障害啓発の委託事業として本セミナーを開催しました。</p> <p>講師には長富義隆先生(自閉症児支援センターWave大阪 管理者)を迎え、強度行動障害の方がおられる施設での支援の様子と、現在取り組まれている早期療育の様子を語っていただきました。</p> <p>それぞれの発達障害者の方に向き合って問題行動を抑制し自分らしい生活ができるようになった実践や、幼児期からの支援で豊かな幼児期を過ごすことで強度行動障害等の問題を減らし生涯に渡る生活のベースを培う取組みは、愛情と工夫に満ちたもので、とても希望の持てる講演内容でした。</p> <p>アンケートでの評価も例年以上に高く、満足以上が90%、うち「大変満足」が58%でした</p> <p>本イベントの周知に協力いただいた方、参加いただいた多くの方に、感謝に堪えません</p>



＜参加者の感想＞

自分の子育てにも 職場でも 活かせるかもしないと思いました
教育現場で働いているので、少しは理解があると思っています。しかし、今回のセミナーを受講して、より深い理解になったと感じました。スケジュールや手順などの支援の有効性は理解しているつもりでしたが、示し方は1つではなく、その子にあった方法を見極めることが大切だと思いました。また、要求カードのような工夫があることで、コミュニケーションが苦手なお子さんが、少しでも気持ちが伝えやすくなるというのは素敵だと思いました。本当にありがとうございました。
強度行動障害に対する支援について分かりやすく説明されて良かったです。
私の職場でも構造化、スケジュール、PECS、視覚支援を用いた療育に取り組んでいるので、今の支援の方向性で大丈夫なんだと肯定的に捉えることができました。また、同じく保護者と一緒に通所してもらっているが、保護者支援の見通しが明確でないまま進んでいるのかなとも感じました。
日々の療育でしていることと照らし合わせながら研修を受けさせていただきました。改めて療育の大切さを確認できました。特に保護者支援からのお話で参考にさせていただきたいことがたくさんありました。ありがとうございました。
今、療育機関でしている支援が子ども達にどれだけ必要なことなのかの再確認ができ、今後に活かせる視点に気づくことができました。
ASDの診断を受けた子供がいます。いつも毎日の生活に追われて、イライラしていることが多く険しい表情をしていることが多いと思います。
長富先生のお話の最後に『笑っているお母さんが好き』と言うスライドにハッとしました。そういうえば次男に『にこにこしてお母さんがいい』と言われたことがあります。これからは心がけて笑顔でいられるようしたいと思いました。
とてもわかりやすい内容でした。支援方法などではなく、大事な考え方など学べたと思います。どんな人と関わる時も、その人を良いところを探していきたいです。
強度行動障害予防としての幼児からの途切れのない自閉スペクトラム症に沿った支援という観点を実際の経験を元にお話いただけてとてもよく理解できた。
また現在強度行動障害で課題のある方々に対しても、なにか特別なことをするのではなく自閉スペクトラム症障害の特性に沿った対応をすることで問題が緩和していくという実例も興味深い。
未だたくさん居られる強度行動障害の方々が暮らしやすくなっています。
分かり易く伝える事で、強度行動障害の軽減ができ、幼児期を豊かに過ごすことができる話でした。素晴らしい実例で、是非滋賀でも実現してほしいと思います。

